

# 春節の龍舞 演じるのは高校生

## 神港橋高校龍獅團



ユーモラスな童子

南京町の春節祭（1月末）を盛り上げる勇壮な龍舞・獅子舞を演じるのは高校生ボランティアです。6月15日、神港橋高校（兵庫区）に「龍獅團」といういかめしいネーミングの部を訪ね、顧問の阪口智敬先生とキャプテンの安東菜摘さん

（3年）、副キャプテンの竹内菜々子さん（同）に龍舞にまつわる話を聞きました。

取り組みのきっかけは、約30年前、文化祭で神戸らしいものを、と思いついて始めたことでした。以後、後輩に受け継がれ今日に至っています。

現在の部員は44人。8割は女子です。舞と楽器パートに分かれ、毎日数時間は練習します。訪ねた折も横の体育館では約30人が練習中でした。舞には龍舞と獅子舞があり、共に縁起物として南京町では絶大な人気があります。楽器は太鼓・ラッパ・ドラ・シンバルがあり、本番ではメンバーが舞と交互にやります。

龍は紙と布でできており、長さはなんと20㍎。9本の取っ手がついていて、これを総勢12人で躍動させます。1体約30万円もする高価なものですが、1回使用するとかなり傷んでしまうのが難だそうです。練習用は小ぶりで長さ10㍎。男子部員が汗だ



## ボランティア 交流録 ④

くで奮闘中でした。女子は長さ1・5㍎ほどもあるラッパを10人ほどで鳴らしていました。獅子舞は2人1組で演じます。隣にはユーモラスな赤・青の童子も控えています。

こうして、全メンバーが自分の役回りを演じ、猛練習を重ねて本番を迎えます。懸命に舞い、楽器を打ち鳴らし、約10分間の演技を終えると、観客からは猛烈な拍手と歓声が湧きおこります。「ああ、やってよかった」。感動と達成感に包まれる一瞬です。

春節・中秋節をはじめ、神戸まつり・地域のイベント・老人ホーム・小中学校など、年間30回くらいは出演します。毎年のように香港・マカオ・シンガポールに出かけ、龍舞の国際競技大会に出場して上位入賞したこともあり、国内では文化庁長官賞を2回も受賞している実力派です。というのも、顧問の阪口先生の師匠がシンガポールの陳俊全氏なので、全面的に指導が受けられるからです。

卒業後はどうするの？ 安東・竹内さんに水を向けると「龍舞の練習はきついですが、とても遣り甲斐があり、満足しています。OB組に入って今後も続けます」と力強い言葉が返ってきました。

（取材・写真 南形徹）

（注）神港橋高校（兵庫区会下山）は、兵庫商業高校（北区）と神港高校が2016年に統合されて生まれた。生徒数は約960人。兵庫商業は鈴蘭台にあったので、北区会ニュースとして取り上げました。

【写真】④ダイナミックな龍舞の練習に励む男子部員  
⑤呼吸を合わせ、長いラッパを吹き鳴らす女子部員